

広報のプロとして、農資源の大切さを広く発信する

●活動内容

農村の危機や環境の大切さを、地域の未来を担う子ども達にわかりやすく伝える教材を企画・製作・配布している。教材には、漫画家・鳥山明氏が全面協力し、食や農、環境問題まで広いテーマを取り扱った冊子『BIOSHERE』や、同冊子のキャラクターを用いて、森の土の働きなどより具体的なテーマを体感してもらうための「実験ノート」などがある。小学校や子ども会を中心に配布し、行政・学校・地域団体などによって活用されている。

●活動の背景、活動への思い

株式会社オルタナティブコミュニケーションズが、農林水産省の広報を担当する中で、農村の過疎化や耕作放棄地といった問題に直面した。そこで、広報のプロとしてそれらの問題解決を目指し、一企業としてではなくさまざまな団体と協働して取り組むために、多方面に呼びかけ団体を設立。地域の人々が自分たちの住む地域を知り、地域について、特に地域の水や森林など「農資源」について考え、地域の可能性に目を向けてほしいという思いをもって活動している。

募 集 中 !

団体では、ホームページ上でさまざまな情報を発信。その一つとして、資源保全活動を活性化させるため、全国の各地域で行われている資源保全活動を紹介している。「ぜひホームページで情報を得て、地域の活動に参加してほしい」と同団体。今後は、より情報を充実させていくとのこと。



概要

- 法人認証年月日／2008年4月1日
- 主な活動分野／環境保全
- 従たる活動分野／まちづくり、NPOの援助

→ 連絡先

〒464-0850 名古屋市千種区今池4-15-5

TEL 052-744-3664

平日 9:30～18:30 担当:越中

FAX 052-744-3665

E-mail contact@2030.jp

URL http://npo.2030.jp/

シニア層に自然に関する学びの場と生きがいを提供する

●活動内容

主な事業として、自然活動のリーダーを養成するため『東海シニア自然大学』を開講している。東海地域の大学教授や専門家などを講師に招き、隔週で月に2回、1年間学ぶ。広く知識をつけた上で観察を主にする基礎科と、基礎科を修了した後により深く、実践的に学びたい人が進む高等科の2コースで構成されている。参加者の平均年齢は61～62歳だが、退職後の生きがいを今から用意しておきたいという50代の人も近年増加している。

●活動の背景、活動への思い

かつては『NPO法人エコワークス』として子どもや家族向けに自然体験事業を行っていたが、シニア層を対象とした社会貢献の場と仲間づくりの場を求める声が高まり、団体設立。参加者の多くは、自らの学習と仲間づくりが主な目的で入学するが、「受講後は学んだことを活かしたい」とボランティアや自然活動に携わる人も多い。今後は、より活動を広げ、シニア層の活躍の場をつくるとともに、自然生態系保護を担う人材の育成に努めていく。

募 集 中 !

修了生の中には竹藪や雑木林の整備などの社会貢献活動や、子どもたちを対象とした自然素材の工作教室など、自然大学で得た知識や仲間とのつながりを活かして活動している人も多い。しかしすべての修了生が活動するには場と機会が足りないため、「ぜひ企業や行政と協働し、定期的に活動できる場をつくりたい」と呼びかけている。



概要

- 法人認証年月日／2007年5月25日
- 主な活動分野／環境保全
- 従たる活動分野／社会教育、まちづくり

→ 連絡先

〒464-0831 名古屋市千種区観月町1-81
グレイス観月102

TEL 052-751-9900 平日 9:00～18:00

FAX 052-751-9900

E-mail tokai@n-ac.jp

URL <http://tokai.n-ac.jp/>

森を守り、自然とのふれあいの場を創り出す

●活動内容

愛知県瀬戸市の定光寺自然休養林や、愛知県設楽町の段戸山などの名古屋近郊をフィールドに、森の整備活動を実施。間伐や枝打ち、下草刈りといった林業に近いものから、雑木林の手入れや遊歩道の整備など「森に親しみやすくする」活動まで力を入れている。またそのフィールドで、自然観察会や子どもの体験学習の実施、企業の社会貢献活動の受け入れなど、幅広い年代層へ里山に接する機会の提供も行っている。

●活動の背景、活動への思い

安価な輸入木材の影響で、戦後に植林された人工林が荒廃している。都市部近郊の雑木林も放置されて木々が繁茂しすぎ、近寄りづらいほど薄暗いところが多い。同団体はこういった森の手入れをするだけでなく、自然とふれあいながら、参加したすべての人が心身共に健康な暮らしをおくことを目的としている。活動は体力が必要な作業が多いうえ、危険を伴うので、無理せず安全に、そして楽しんで活動することを第一としている。

募 集 中 !

間伐・遊歩道の整備・自然観察会などの参加者を随時募集。本格的な森の整備作業から、家族全員が楽しめるものまで、興味にあわせてさまざまな活動から選ぶことができる。特に若い世代に参加してほしいという。活動を支援してくれる会員も募集中。詳細はホームページ参照。



概要

- 法人認証年月日／2011年3月11日
- 主な活動分野／環境保全
- 従たる活動分野／地域安全、子どもの健全育成

→ 連絡先

〒451-0041 名古屋市西区幅下1-9-4

TEL 090-3934-2464 お問い合わせはFAXまたはメールで
FAX 0568-88-8065
E-mail admin@ncfc.jp
URL <http://www.ncfc.jp>

都市近郊の農地を活用し、地産地消を推進

●活動内容

都市生活者に対し、日進市や名古屋市天白区で、農業体験プログラムの提供などを行い、有機の米・野菜作りをはじめ地産地消の推進に取り組んでいる。主な体験プログラムは次の通り。1.年間の米作りの流れである田植え(6月)や草取り(7月)、稲刈り・ハザかけ・脱穀(10月)、もみすり・堆肥づくり(11月)。2.大豆などの野菜作り。その他親子を対象に『母子菜園』や、幼稚園児・小学生を対象に『子ども畑塾』などを開催。詳しくはホームページを参照。

●活動の背景、活動への思い

近年、特に都市近郊においては、後継者不足などのために各地で耕作放棄地が増えているなど、農業が衰退しつつある現状がある。そのような状況を改善し、農業によって豊かな自然とそこに生きるさまざまな生き物たちを守りたいとの思いで活動中。「都市近郊に住む地元の人々だけでなく、都市住民も共に、楽しみながら都市近郊農業を支えていくことが望ましいのではないかと考えており、その第一歩として農業体験の機会を提供している。

募 集 中 !

農業体験の参加者を募集中。米作りと野菜作りのプログラムは日進市本郷町で、『母子菜園』『子ども畑塾』は名古屋市天白区で開催している。また、会員も募集中。費用・会費など、詳細については問い合わせを。



概要

- 法人認証年月日／2011年9月22日
- 主な活動分野／環境保全
- 従たる活動分野／まちづくり、子どもの健全育成

→ 連絡先

〒451-0013 名古屋市西区江向町5-49-401

TEL 090-5443-1518 平日・土 9:00~18:00

FAX 052-934-7207

E-mail info@n-yasaijuku.com

URL http://n-yasaijuku.com/

藤前干潟に直接ふれ、自然の大切さを知ってほしい

●活動内容

1. 団体の活動拠点である『稲永ビジターセンター』と『藤前活動センター』の管理運営業務。
2. 藤前干潟を体感できる学習プログラムの提供。プログラムは全年齢を対象とした『干潟の学校』や、子ども対象の『藤前干潟ガタレンジャーJr.』などがあり、参加者は直接干潟に入り干潟に住む生き物観察などを行う。
3. 藤前干潟を案内するボランティアスタッフ『ガタレンジャー』の養成講座を開催。ガタレンジャーは自然の大切さを後世に伝えていく。

●活動の背景、活動への思い

藤前干潟のゴミ埋立処分場計画を知った地域住民たちが、「豊かな生態系をもち、渡り鳥の休息場所である藤前干潟を守りたい」と保全活動を行ったことが団体の始まりだ。保全活動の結果、1999年に処分場計画は中止となり、名古屋市のごみ収集制度・環境政策の見直しにもつながった。2002年11月にラムサール条約登録湿地に指定されたことを出発点として、現在も自然豊かな社会を後世に残すために環境教育などの活動を行っている。

募 集 中 !

以下の活動に参加してくれる人を募集中。1. 藤前干潟を案内するボランティアスタッフ『ガタレンジャー』。ガタレンジャーになるには養成講座の受講が必須。2. 藤前干潟体感学習プログラム『干潟の学校』の参加者。3. 藤前干潟で活動する子ども『ガタレンジャーJr.』。毎年2～3月頃に募集する。



概要

- 法人認証年月日／2003年7月1日
- 主な活動分野／環境保全
- 従たる活動分野／社会教育、まちづくり

→ 連絡先

〒455-0855 名古屋市港区藤前2-202
藤前活動センター(活動拠点)

TEL 080-5157-2002

火～日 9:00～16:30 ※月・第3水除く

FAX 052-309-7261

E-mail info@fujimae.org

URL http://www.fujimae.org/

桑を植え、持続する里山保全と農的くらしを目指す

●活動内容

豊田市の里山・休耕田で桑の栽培を行い、その桑や、独自で研究開発した人工飼料を使って養蚕を実施。蚕が生産した繭を利用して、生糸やシルク石けん、食品材料などの新商品を開発・製造している。また、桑の木を有効利用するため『桑茶』を製造し、地元の直売所などで販売。さらに、桑の木の繊維を原料にした『桑紙』から壁紙やオブジェなどを制作したり、染色した紙や絹糸から織り物などの工芸作品を制作し、資源の活用領域を拡大している。

●活動の背景、活動への思い

かつて日本の里山では、養蚕を中心にした生業によって、田畑や里山の自然環境と調和した生活が営まれていた。しかし化学繊維や工業製品の発展に押されて、養蚕は廃れ、里山の機能も失われてしまった。そこで養蚕の価値を見直し、養蚕を通じて自然の恵みを与えてくれる里山の維持・保全を図ることで、「里山の環境と農的くらしを両立させたい」との思いで設立。今後は、持続可能な暮らしを次世代の子どもたちに伝える活動をしていきたいとのこと。

募 集 中 !

京都工芸繊維大学などと連携し、養蚕によるシルク石けんや化粧水、クッキング食料、サプリメント、工芸品など、さまざまな新商品開発を行っているので、一度試してみてもいい。また、同団体が行う事業説明会に参加希望の人は、ファックスかメールで問い合わせを。



概要

- 法人認証年月日／2006年3月14日
- 主な活動分野／環境保全
- 従たる活動分野／まちづくり

→ 連絡先

〒468-0006 名古屋市天白区植田東2-1606
エイエヌピー(株)内

- TEL 052-847-2627 お問い合わせはFAXまたはメールで
- FAX 052-847-2628
- E-mail anp@zm.commufa.jp
- URL <http://mulberryc.exblog.jp/>

名古屋市東区

水とみどりを愛する会

構成人員

職員3人
ボランティア0人
会員209

水の源である森を守り、自然との共生を図る

●活動内容

水と緑を愛する人を増やし、自然と人が共生する社会を目指して活動を展開。「森を育てる・森と親しむ」を活動の柱に、森林保全を目的とした人工林の間伐活動や、身近な森での自然観察をはじめ、星空観察や『森の恵みを食する会』といったチーム活動を実施する。また、林野庁が推進する森林環境教育にも参画。インタープリター（自然と人との仲介となり森などの自然解説をする人）研修を受けた会員が小学校の要請に応じ、森林体験授業をサポートしている。

●活動の背景、活動への思い

活動の始まりは、中部電力が所有する人工林の活用を考えるため、アウトドアや自然環境に関心をもつ社員が集まり『森林ボランティアクラブ木楽会』を結成したのがきっかけ。以来、週末を利用して、年15回のペースで間伐作業を実施。人工林の環境保全に力を尽くす一方、森林環境教育を通して、森が水源を育み「いのち」と「くらし」を支えていることを子どもたちに伝え、水と緑を愛する心を次世代に繋げたいという思いをもつ。

メッセージ

「身近な森に入って、森の健康状態を気にかけてほしい」と同団体。木漏れ日がさす、明るく清々しい森は健康な森。反対に、薄暗くジメジメとした森は、密集した木々が日差しを遮り、生命を育まない森。間伐は森を元気にするための有効な手段であることを、森に入って感じ取り、理解を深めてほしいとしている。



概要

- 法人認証年月日／2004年9月30日
- 主な活動分野／環境保全
- 従たる活動分野／—

→連絡先

〒461-8680 名古屋市東区東新町1

TEL 052-880-6678 平日 8:30~17:30

FAX 052-973-0590

E-mail m-midori@yk.commufa.jp

URL <http://www.wa.commufa.jp/~m-midori/index.html>

木曽川流域にある上下流間格差問題を伝えたい

●活動内容

1. 木曽川下流域市民の寄付金で購入した御嵩町の森で、民有林と町有林の間伐と枝打ちを実施。作業の合間には、ボランティアの人たちに木曽川流域上下流間の格差問題について伝える。
2. 木曽川流域圏シンポジウムを開催。過疎、高齢化、農林業不振など木曽川上流域の困窮は、下流域の繁栄と表裏の関係にある。若い労働力を集め、安価で清澄な木曽川の水を基盤として成長した下流域都市圏は、上流域支援の責任があるとして、仕組みづくりを提言。

●活動の背景、活動への思い

御嵩町の巨大産業廃棄物処分場計画に反対した木曽川下流域の住民が、木曽川の水を守りたいと団体を設立。木曽川の水を飲む下流域からの感謝を形にしようと御嵩町への寄付金を集めたが、町長から「そうした寄付は役場で簡単に使えない。町内に森を買って上下流域住民交流の場としたらどうか」と提案され、山林を買い、その整備を始めたことが団体の始まりである。同団体のメンバーは、「木曽川流域の上下流間の格差問題を知ってほしい」とメンバーと語る。

募 集 中 !

森仕事の参加者を募集中。開催日は毎月第2土・日曜。仕事内容は、間伐や枝打ち、散策道の整備など。雨天決行。参加費不要（但し、保険料100円）。また、環境問題や木曽川流域に関する知識をもつ講師の派遣先を募集している。「上下流間格差を解決することは、この国の仕組みの根幹に関わる問題である」と同団体。



概要

- 法人認証年月日／2000年9月20日
- 主な活動分野／環境保全
- 従たる活動分野／—

→ 連絡先

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬2-28-14

TEL 052-682-4737

FAX 052-682-4737

E-mail mitake500npa@yahoo.co.jp

URL <http://homepage3.nifty.com/mitake/>